

議題（3）

排水作業準備計画（案）

を踏まえた訓練について

■鳥・神流川流域における緊急排水作業に係る訓練の実施

目的：○平成30年度に作成した「鳥・神流川排水作業準備計画」及び「樋管操作マニュアル」の実行性の検証
 ○緊急排水作業の実施手順に関する、関係者間の相互理解と認識の共有

日時：令和元年10月2日(水) 9:00～12:00

9:00～10:00 座学（会場：高崎市新町支所 会議室）

10:15～11:30 実動訓練（会場：新町第3樋管）

11:30～12:00 意見交換・振り返り

参加者：○河川管理者 国土交通省高崎河川国道事務所
 ○意思決定者 高崎市下水道局維持管理課
 ○監視員 高崎市下水道局維持管理課
 ○操作員 (株)環境管理センター
 ○見学者 高崎市総務部防災安全課、建設部土木課
 群馬県総務部危機管理室、群馬県県土整備部河川課
 下久保ダム管理所管理班



座学の実施状況



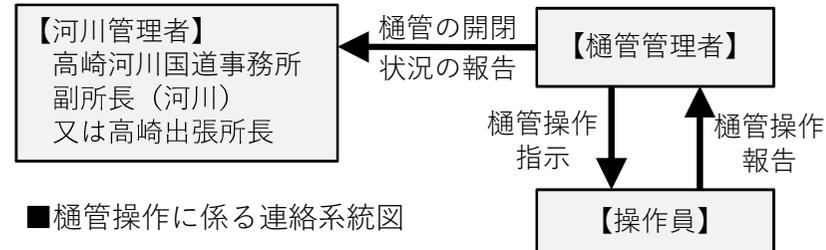
操作員が新町第三樋管へ出動



意思決定者が操作員に指示



操作員が樋管を開閉操作



■訓練振り返り
意見と対応（案）

【**順流／逆流の確認**】 樋管の開閉操作の基準である順流／逆流の確認方法の高度化が必要。
 ⇒樋管周辺の水位計測のために水位計を設置

【**堤防へのアクセス**】 堤防天端道路に直接車両が進入できない。
 ⇒県道管理者と協議の上、着脱式のガードレールに置換え

■台風第19号への
対応と課題

【**樋管操作手順の周知**】 台風時に樋管操作手順に準じた対応に課題があった。
 ⇒関係機関は樋管操作手順を周知徹底、図上訓練や実地訓練を継続的に実施

【**水位情報の入手困難**】 「川の防災情報」へのアクセスが集中、水位情報が入手困難だった。
 ⇒自治体だけがアクセス可能な「市町村向け川の防災情報」の利用を徹底

■鳥・神流川排水作業準備計画の更新

- 樋管の開操作後に、自然排水で浸水が解消されない窪地については、進入ルート of 安全に十分留意し、釜場及び排水先となる河川、水路等を確認した上で、排水ポンプ車を配備して氾濫水を排水
- 本年度更新では、窪地の排水箇所及び排水方法の具体化を行い、基礎資料として、想定される排水ポンプ車の進入ルート・配置場所、釜場の位置及び排水先を追記



集結候補場所から窪地排水箇所への進入ルート（案）



窪地カルテの例（氾濫ブロックB）

【留意事項】

※排水ポンプ車による排水では、釜場の水深が1m以上必要であるため、水深が不足する場合、現場で切削が必要

■排水作業準備計画に係る令和2年度訓練実施（案）

- 令和元年台風第19号時の対応に係る樋管管理者のアンケート調査結果に基づき、樋管操作マニュアルの履行状況や課題を整理
 - ⇒ 改善策の検討（情報伝達・共有方法、樋管周辺における水位情報の取得方法等）



- 情報伝達・共有に着目した大規模水害時の樋管操作に係る図上訓練を実施
 - ⇒ 樋管のグループ（氾濫ブロック等）ごとに、河川管理者、樋管管理者及び操作者が一堂に会して、樋管操作マニュアルに沿った情報伝達及び樋管操作の流れを確認
 - ⇒ 図上訓練で確認された課題等をふまえ、排水作業準備計画（案）や樋管操作マニュアルの改善を図る